

中川・綾瀬川流域治水プロジェクト【素案】

～都市化の進む流域において総合的な治水対策を一層推進し、浸水被害を軽減～

○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、利根川水系中川・綾瀬川においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを一層推進していくことで、流域で甚大な浸水被害が発生した戦後最大の昭和33年洪水と同規模の洪水に対して、資産の集中する大臣管理区間の堤防からの越水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



■河川における対策

国の対策内容 堤防整備、排水機場増強、支川合流点処理 等
※今後、関係機関と連携し、都県管理区間の河川改修を追加予定

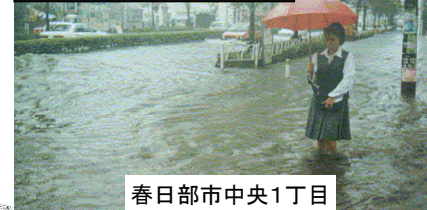
■流域における対策のイメージ

- ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
 - ・既存ダムの洪水調節機能の強化
 - ・土地利用規制・誘導(災害危険区域等) 等
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

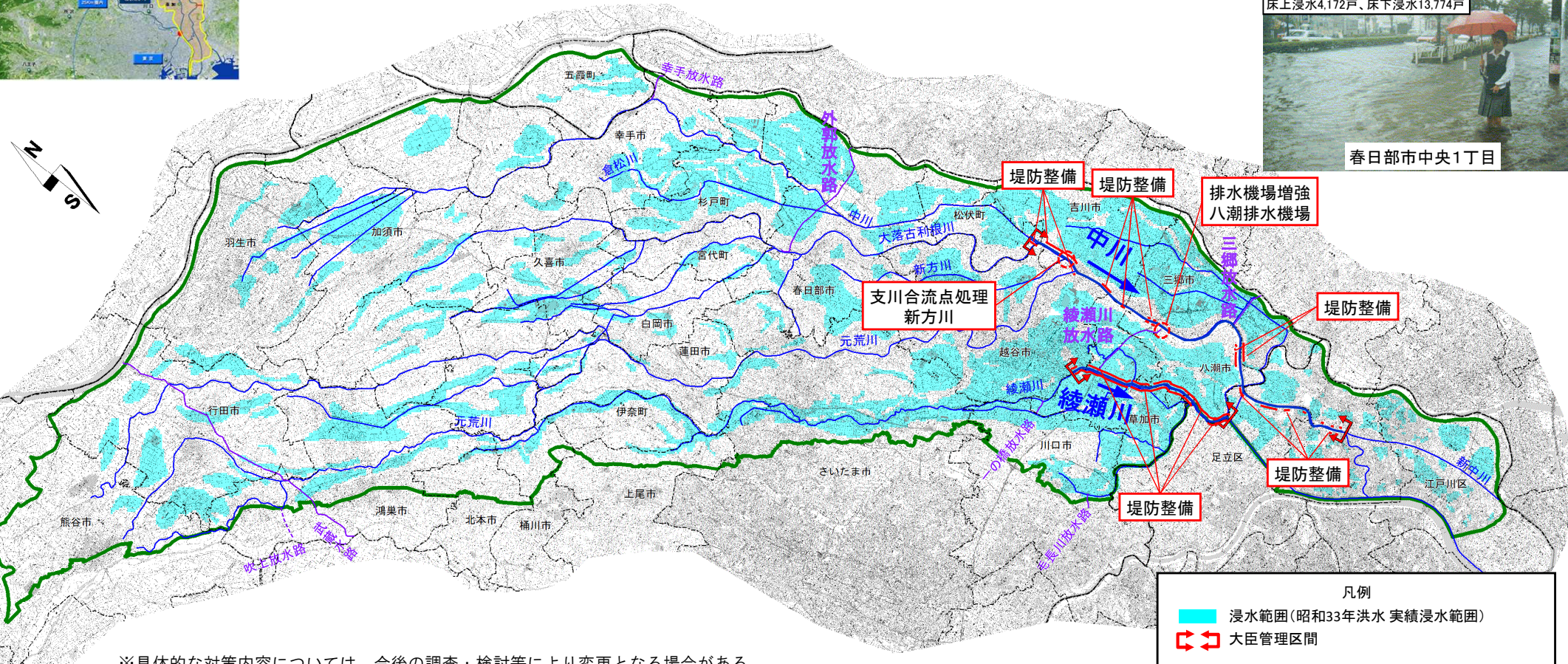
■ソフト施策のイメージ

- ・水位計・監視カメラの設置
 - ・マイ・タイムラインの作成 等
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

平成3年9月台風第18号
床上浸水4,172戸、床下浸水13,774戸



春日部市中央1丁目



凡例

- 浸水範囲(昭和33年洪水 実績浸水範囲)
- 大臣管理区間

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。
※上図には危機管理対策等は含まれていない。